

学修の手引

2022（令和4）年度

2022 年度入学生用

久留米工業大学

目 次

建学の精神・教育の理念	2
2022 年度 学年暦	3
1. 履修登録上の注意	4
2. 履修登録単位の制限	4
3. 共通教育科目(総合教育)詳細について	5
4. 進級基準	6
5. 卒業研究の着手要件(2022 年度入学)	6
6. 卒業の要件 (2022 年度入学)	7
7. 教職課程希望者へ	8
8. 授 業	9
(1) 授業時間・講義室	
(2) 授業形態について	
(3) 遅刻について	
(4) 緊急時の授業・学内定期試験の取扱い	
(5) 休講・補講・集中講義	
(6) 公欠について	
9. 試 験	12
10. 履修登録関係日程	13

建学の精神

人間味豊かな産業人の育成

教育理念

知(技術の冴え)を磨き

情(心の情)を育み

意(不屈の意志)を鍛える

「知、情、意」のバランスのとれた人材の育成

2022年度 工学部 学年暦

月	4月							1 2	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2	10月							8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23		
	週	日	月	火	水	木	金				土	日	月	火	水	木	金		土	
4月								1 2	1日～4日 在学生履修登録 5日 入学式 6日～9日 新入生オリエンテーション								1	8日 後期振替講義予備日 10日 スポーツの日 11日～13日 後期履修変更及び取消期間		
		3	4	5 入学式	6	7	8	9	6日～9日 新入生オリエンテーション 11日 前期講義開始 23日 開学記念日		19	2	3 ②	4 ②	5 ②	6 ②	7 ②	8 振替講義予備日	29日 後期補講日	
	1	10	11 ①	12 ①	13 ①	14 ①	15 ①	16	25日～27日 前期履修変更及び取消期間 29日 昭和の日：通常講義		20	9	10	11 ③	12 ③	13 ③	14 ③	15		
	2	17	18 ②	19 ②	20 ②	21 ②	22 ②	23 開学記念日			21	16	17 ③	18 ③	19 ④	20 ④	21 ④	22		
5月								1 2	2日 4/29 昭和の日の振替 3日 憲法記念日 4日 みどりの日 5日 こどもの日 6日 7/18 海の日の振替										3日 文化の日 12日 振替講義予備日 23日 勤労感謝の日	
	4	8	9 ④	10 ④	11 ④	12 ④	13 ④	14			24	6	7 ⑥	8 ⑦	9 ⑦	10 ⑥	11 ⑦	12 振替講義予備日		
	5	15	16 ⑤	17 ⑤	18 ⑤	19 ⑤	20 ⑤	21			25	13	14 ⑦	15 ⑧	16 ⑧	17 ⑦	18 ⑧	19		
	6	22	23 ⑥	24 ⑥	25 ⑥	26 ⑥	27 ⑥	28			26	20	21 ⑧	22 ⑨	23 ⑨	24 ⑧	25 ⑨	26		
6月				1 ⑦	2 ⑦	3 ⑦	4	11日 前期補講日 25日 前期補講日									1 ⑨	2 ⑩	3	24日 振替講義予備日 25日～1/9日 冬季休業日
	8	5	6 ⑧	7 ⑧	8 ⑧	9 ⑧	10 ⑧	11 補講日			28	4	5 ⑩	6 ⑪	7 ⑩	8 ⑩	9 ⑪	10		
	9	12	13 ⑨	14 ⑨	15 ⑨	16 ⑨	17 ⑨	18			29	11	12 ⑪	13 ⑫	14 ⑪	15 ⑫	16 ⑫	17		
	10	19	20 ⑩	21 ⑩	22 ⑩	23 ⑩	24 ⑩	25 補講日			30	18	19 ⑫	20 ⑬	21 ⑫	22 ⑫	23 ⑬	24 振替講義予備日		
7月								1 ⑪	2日 振替講義予備日 9日 振替講義予備日 11日～13日 前期履修取消期間											1日 元日 2日 振替休日 9日 成人の日 10日 月曜13回目講義日 10日～12日 後期履修取消期間 13日 臨時休講日 14日・15日 大学入学共通テスト 21日 後期補講日 27日 後期講義終了日 28日～31日 後期補講日
	12	3	4 ⑫	5 ⑫	6 ⑫	7 ⑫	8 ⑫	9 振替講義予備日 16日 振替講義予備日 18日 海の日：通常講義 23日 前期補講日 29日 前期講義終了		31	8	9	10 ⑬	11 ⑬	12 ⑬	13 臨時休講日	14 大学入学共通テスト	15		
	13	10	11 ⑬	12 ⑬	13 ⑬	14 ⑬	15 ⑬	16 振替講義予備日			32	15 大学入学共通テスト	16 ⑭	17 ⑭	18 ⑭	19 ⑭	20 ⑭	21 補講日	22	
	14	17	18 ⑭	19 ⑭	20 ⑭	21 ⑭	22 ⑭	23 補講日			33	22	23 ⑮	24 ⑮	25 ⑮	26 ⑮	27 ⑮	28 補講日		
8月			1 補講日	2 補講日	3 補講日	4 前期末試験	5 前期末試験	6 前期末試験	1日～3日 前期補講日 4日～9日 前期末試験 (予備日含む) 11日 山の日 10日～9/23日 夏季休業日 24日 成績公開											1日～9日 学年末試験 (予備日含む) 3日・4日 前期一般選抜 11日 建国記念日 14日 成績公開 20日～23日 学年末追・再試験 (予備日含む) 23日 天皇誕生日
	17	7 前期末試験予備日	8 前期末試験	9 前期末試験	10	11	12	13			35	5	6 学年末試験	7 学年末試験	8 学年末試験	9 学年末試験予備日	10	11		
	14	14	15	16	17	18 山の日	19	20				12	13	14 成績公開	15	16	17	18		
	21	21	22	23	24 成績公開	25	26	27				19	20 学年末追・再試験	21 学年末追・再試験	22 学年末追・再試験	23 学年末追・再試験予備日	24	25		
9月						1 追・再試験	2 追・再試験	3	1日～6日 前期追・再試験 10日 成績公開 19日 敬老の日 20日・21日 後期履修変更及び取消期間 23日 秋分の日 26日 後期講義開始											2日 成績公開日 17日 学位記授与式 21日 春分の日
	4	4	5 追・再試験	6 追・再試験	7	8	9	10 成績公開			5	5	6	7	8	9	10	11		
	11	11	12	13	14	15	16	17			12	12	13	14	15	16	17 学位記授与式	18		
	18	18	19	20 敬老の日	21 後期履修変更及び取消期間	22	23	24 秋分の日			18	19	20	21	22	23	24 春分の日	25		
18	25	26 ①	27 ①	28 ①	29 ①	30 ①	31 ①			18	26	27	28	29	30	31				

◆ ①～⑮は講義回数

◆ 履修登録 前期 履修変更及び取消期間：4/25 (月)～4/27 (水)
 前期 履修取消期間：7/11 (月)～7/13 (水)
 後期 履修変更及び取消期間：9/20 (火)・9/21 (水)

- 3 -

◆ ①～⑮は講義回数

◆ 履修登録 後期 履修変更及び取消期間：10/11 (火)～10/13 (木)
 後期 履修取消期間：1/10 (火)～1/12 (木)

学 修 に つ い て

「単位制」に基づいた特定の授業科目の単位が認定されるためには、その授業科目を自分の受講科目として登録する必要があります。この作業を「履修登録」と呼びます。これを怠ると、受講は認められず、たとえ授業に出席しても、単位認定はされません。履修手続きは学生が自己の責任において行うものですから、各自履修規則、その他の履修登録上の注意や学生便覧の「授業科目の履修と登録」などをよく読み、誤りのないように手続きを行ってください。

1. 履修登録上の注意

*各学科の履修指導計画に基づいて、目標単位が修得できるように履修登録をしてください。

- (1) 授業科目を登録するにあたっては、履修規則（学生便覧 P128～参照）及びその他の履修上の条件等をよく確認して登録してください。
- (2) 正当な理由がなく定められた期間内に履修登録の手続きを怠った場合は、受講することができません。
- (3) 履修登録は原則として当該学科・クラスで登録してください。
- (4) 2 時限連続の科目は必ず 2 時限とも登録してください。
- (5) 重複履修はできません。
(同じ科目を 1 組と 2 組で、または前期と後期で履修することはできません。
時間割で<再>とある科目は、後期に再履修することができます。)

2. 履修登録単位の制限

皆さんが 1 年間に履修登録できる単位数の上限は **45 単位** です。

半期は **28 単位** までです。

学生便覧、シラバスを参考にして、履修登録した単位数が 45 単位、半期 28 単位を上回っていないか確認して、履修登録してください。

(45 単位以上の場合は履修エラーとなります。)

ただし、自主活動は履修登録単位数の 45 単位には含みませんので、資格等を取得したら、学科長に申し出てください。

また、教員免許状を取得するための科目等で、卒業要件に含まない科目は 45 単位から除きます。

令和元年度より、GPA の対象となるすべての科目が CAP 制の対象となり、成績優秀者(直近 1 年間の成績発表時における GPA が 3.00 以上の者)については、次年度、この単位数が 4 単位引き上げられます。(対象者はクラス担任か教務課に確認すること)

3. 共通教育科目(総合教育)詳細について

(1) 自主活動

共通教育科目の総合教育系科目の中に「自主活動Ⅰ」、「自主活動Ⅱ」という科目を開講しています。自主活動については、資格取得、ボランティア活動、公開講座、自主製作活動があり、大学に入学してから在学中の間に資格を取得したり、活動をした場合に単位を与えられる科目です。

資格一覧(学生便覧 P69 参照)の資格を取得した場合は、所定の用紙に必要事項を記入して、学科長に申請してください。各学科において単位認定の判定が行われます。

資格一覧にない資格については、クラス担任に相談ください。

単位が認定される場合と、認定されない場合とがあります。なお、「自主活動Ⅰ」、「自主活動Ⅱ」は履修登録の必要はありません。(申請書は、教務課にあります。)

(2) インターンシップ

一定期間インターンシップに参加した学生に単位の認定が行われます。詳細については、就職課に問い合わせください。(申請書は、就職課にあります。)

(3) 学外教育

① 久留米市内の 5 つの高等教育機関による共同講義の受講を完了した者。

② 海外語学研修プログラムを修了した者。

(申請書は、教務課にあります。)

(4) 単位互換履修

久留米地域の 5 つの大学・短期大学・工業高等専門学校が単位互換協定を締結しています。

他の協定校の授業科目を履修し、そこで取得した単位は「共通教育の選択科目」として認定します。(申請書は、教務課にあります。)

他大学の講義に興味のある方は教務課までお問合せください。

上記、(1)～(4)については「学生便覧」P69 を参照ください。

4. 進級基準(学生便覧 P78 参照)

2年次から3年次の進級時に、進級基準が設けられています。基準に達しない場合は、留年となります。進級判定は3月と9月に行います

(編入学生には、この基準を適用しません)

適用年次	基準	備考
1年→2年	なし	
2年→3年	・2年以上在籍していること ・卒業要件科目を60単位以上修得していること	基準に達していない場合は留年となる
3年→4年	なし	

※留年生については、上位学年次(3年次)の履修科目のうち、選択科目について10科目(20単位)以内を履修することができます。

前期終了時に、進級基準(60単位)を

満たしていれば後期から3年次に進級することができます。

5. 卒業研究の着手要件 (2022年度入学)

学 科	基準
機械システム工学科	・卒業要件科目を96単位以上修得していること ・2年生までの共通教育科目および専門教育科目の必修科目を全て修得していること
交通機械工学科	・卒業要件科目を102単位以上修得していること
建築・設備工学科	・卒業要件科目を100単位以上修得していること ・2年生までの共通教育科目および専門教育科目の必修科目を全て修得していること
情報ネットワーク工学科	なし
教育創造工学科	・卒業要件科目を92単位以上修得していること

6. 卒業の要件 (2022 年度入学)

総単位数が 124 単位以上でも、各要件(必修科目、選択必修科目、選択科目)を充足しないと卒業できません。各要件を満たせるように履修登録してください。

[卒業要件(学生便覧 P78～79 参照)]

本学を卒業するためには、4 年以上在学し必修科目を含めて以下の区分に従って合計 124 単位以上を習得しなければなりません。

<機械システム工学科>

	共通教育科目	専門教育科目	合 計	
必修科目	16 単位	54 単位	70 単位	124 単位 以上
選択必修科目		9 単位	9 単位	
選択科目	45 単位以上		45 単位以上	

<交通機械工学科>

	共通教育科目	専門教育科目	合 計	
必修科目	16 単位	52 単位	68 単位	124 単位 以上
選択必修科目		16 単位	16 単位	
選択科目	40 単位以上		40 単位以上	

<建築・設備工学科>

	共通教育科目	専門教育科目	合 計	
必修科目	16 単位	63 単位	79 単位	124 単位 以上
選択科目	45 単位以上		45 単位以上	

<情報ネットワーク工学科>

	共通教育科目	専門教育科目	合 計	
必修科目	16 単位	58 単位	74 単位	124 単位 以上
選択必修科目		4 単位	4 単位	
選択科目	46 単位以上		46 単位以上	

<教育創造工学科>

	共通教育科目	専門教育科目	合 計	
必修科目	14 単位	38 単位	52 単位	124 単位 以上
選択必修科目		18 単位	18 単位	
選択科目	54 単位以上		54 単位以上	

7. 教職課程希望者へ（教育創造工学科の学生を含む）

教員免許状の取得に必要な科目は、1年生の時には次の通りです。学科の卒業のためには必要でない科目もあります。免許状取得を希望する人は、忘れずに履修登録をして受講しておいて下さい。

（1）工業、情報、理科、数学の免許状取得に必要な科目（全学科）

- ・ 共通教育科目等（『学生便覧』P81の第2条(1)を参照のこと）
〔前期〕「生涯スポーツⅠ」（全学科）（※体育関係は、特に「健康科学」を2年次以降に履修しなければなりません。）
「コンピュータテラー」（全学科）
- ・ 教職に関する科目（全学科共通）（『学生便覧』P88の別表第6を参照）
〔後期〕「教育基礎論」※
〔集中講義〕「特別支援教育概論」※（長期休業中に集中講義で開講予定。忘れずに履修登録をしておくこと。後日、教職の掲示板等で日程を連絡します。）

※の科目は、卒業に必要な単位数に含まれません。また、一年の履修制限の45単位にも含まれません。（但し、いずれも教育創造は除く。）

（2）工業の免許状取得を希望する人（教育創造を除く4学科）

1年生の時から、各学科の時間割に合わせて、『学生便覧』P89～90の別表第7の各学科の科目を、卒業までに指定された単位以上修得するよう履修してください。

（3）情報の免許状取得希望者（情報ネットワーク）

【情報ネットワーク工学科】（『学生便覧』P83の表を参照のこと）

- 〔前期〕「コンピュータシステム概論」「プログラミングⅠ」
- 〔後期〕「プログラミングⅡ」「Web基礎演習」
「ネットワークの基礎」「ビジュアルコンテンツ基礎」

(4) 理科と数学の免許状取得希望者（教育創造のみ）

（『学生便覧』P84～86の表参照）

理科と数学については、学科の指導に従ってください。

《教職課程ガイダンスの案内》（教育創造工学科の人は学科の「フレッシュマンセミナー」の授業で別途ガイダンスをしますので、下記のガイダンスに出席する必要はありません。）

◎1年生（教育創造工学科を除く）に対する教職課程のガイダンスを行ないます。

日時・教室は教職課程の掲示板（Moodleバーチャル掲示板）に掲示するので、注意しておくこと。オンライン（遠隔）での実施となる場合もあります。

※教職を希望する人は、必ず『学生便覧』と時間割を用意の上、参加してください。

『学生便覧』が手もとにないと、ガイダンスでの説明が理解出来ません。

※教職課程の履修に関して分からないことや個人的に相談のある人は、堀研究室（6号館4階）hori@kurume-it.ac.jpまで連絡ください。

8. 授 業

(1) 授業時間・講義室

*授業時間 授業時間は1時限が90分で次のとおりです。

第1時限	9:00～10:30
第2時限	10:40～12:10
第3時限	13:00～14:30
第4時限	14:40～16:10
第5時限	16:20～17:50

注) 7月・1月は補講期間として第6時限(18:00～19:30)を開講します(補講のみ)

*講義室 講義室番号は次のように決められています。

(例)	<u>1</u>	<u>4</u>	<u>1</u>	講義室
	↓	↓	↓	
	100号館	4階	講義室番号	
	(建物番号)			

(2) 授業形態について

令和2年度より4種類の授業形態で実施しています

① 面接

教室などの場で直接、教員から指導を受けます。

② 遠隔(リアルタイム) (同時かつ双方向)

リアルタイムで教員と遠隔地の学生がやりとり可能な授業形態です。

③ 遠隔(オンデマンド) (同時ではない)

学生が好きな時間に取り組む授業形態(期限あり)です。

④ ミックス(面接&遠隔)

面接と遠隔を対面指導とオンラインとの組み合わせによる新しい教育様式です。

※ 学術情報センターのパソコンを利用したい方は、授業のない時間に利用できます。
教務課に事前予約をしてください。

(3) 遅刻について

*遅刻は、授業開始後30分以内(オンデマンド除く)。それ以上は欠席扱いとなります。
遅刻3回で欠席1回となります。

(4) 緊急時の授業・学内定期試験の取扱い

1. 緊急時における休講等の措置

台風等の気象状況、交通機関の影響による授業等の休講等の措置については、(1)及び(2)の状況を教務課長及び教務委員長が学長に速やかに報告し、学長がこれを決定する。

(1) 気象警報

福岡県福岡地方および筑後地方に福岡管区气象台が発表する特別警報(波浪・高潮除く)、暴風警報、大雪警報、暴風雪警報のいずれかが発令、大雨警報と洪水警報ともに発令された場合、またそれが予想される場合。

(2) 公共交通機関

台風等により、下記の公共交通機関の全線もしくは一部区間が運行停止もしくは運行見合わせ(以降、両者を含め運休という)により通学に困難が生じる場合、またそれが予想される場合

- ・JR 鹿児島本線
- ・西鉄大牟田線
- ・西鉄バス 路線バス(八女営業所管轄)
- ・九州道通行止め(久留米IC-広川IC間を含む区間)

2. その他不測の事態による授業等の休講等の措置

- (1) 1. に規定するもののほか、地震その他の不測の事態が発生した場合における授業等の休講等の措置は、学長が適宜状況を判断の上、決定するものとする。
- (2) 授業等の実施時間内において、特に緊急を要する場合は、学長の判断により即時授業を休講等とする。
- (3) 前日の段階で必要がある場合、学長の判断により翌日の授業の休講等を決定することがある。

3. 休講等の措置の周知

1. および 2. により決定した休講等の措置は、下の表に掲げる時間帯に応じ実施し、教務課がポータルサイト、(学務システム)の「お知らせ」および大学ホームページ、学内メールにて周知を行うとともに、学内においては掲示により周知を行うものとする。

授業等の取り扱い	休講等の条件	周知時間
終日休講	翌日の通学が困難と判断される場合	午後 5 時まで
	午後 5 時以降から明け方にかけて通学が困難と判断される場合	午前 6 時 30 分まで
午前中休講	午前 6 時の時点で、警報等が発令中・交通機関運休の場合	午前 6 時 30 分
午後実施 (3 限目以降)	午前 10 時まで解除、交通機関の運行確認	午前 10 時 30 分
午後休講 (3 限目以降)	午前 10 時の時点で、警報等が発令した場合	午前 10 時 30 分
	午前 10 時に運休が生じ、それが継続している場合	

注) 急を要する場合は学長の判断により適宜、休講措置を講じるものとする。その際は決定後、速やかに学生へ周知するものとする。

(5) 休講・補講・集中講義

- ・休 講 … 教員の都合等によって授業を休みにすることをいいます。
- ・補 講 … 主に休講に対する措置で、通常の授業時間とは別に臨時に授業を補うことをいいます。
- ・集中講義 … 休暇中や特定の期間に集中して授業が行われることをいいます。

休講などは、担当の教員から連絡があり次第その都度、掲示板及びポータルサイトにて連絡します。連絡がなく授業開始後 30 分経過しても教員が入室しない場合は、教務課に問い合わせ指示を受けて下さい。

(6) 公欠について

公欠とは、下記（別表 1）のいずれかの事由に該当し、公欠届の提出を行った学生について、授業を欠席扱いしないことをいいます。（交通機械工学科は別途定める。）

別表 1

	公欠の理由	公認日数	添付書類	承認者
1	忌引	配偶者 10日 父母 7日 子供 5日 祖父母・兄弟姉妹 3日 叔伯父・叔伯母 1日 曾祖父母 1日	死亡診断書 または会葬 礼状	教務課長
2	学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する感染症にかかった場合	左記規則第 19 条に規定する期間	診断書または治癒証明書	学生課長
3	裁判員候補者として裁判所へ出向く場合及び裁判員として職務に従事する場合	必要日数	選任手続き期間の通知（呼出状）等	学生課長
4	天災、その他本人の責任に帰すことができない理由によるもの	1～7日	交通事業者の証明（延着証明、等）	教務課長
5	学友会活動による対外試合等	必要日数	課外活動参加伺(写)	クラブ顧問 または監督
6	就職試験	必要日数	証明できる書類等	就職課長
7	教育実習及び介護等体験	必要日数	証明できる書類等	教務課長
8	その他学長が必要と認めた場合	必要日数	証明できる書類等	副学長

- ・ 公欠を願出る者は、公欠届に承認者の証明を受け、添付書類と共に担当課へ提出のこと。
- ・ 公欠の事由が発生し、公欠届の提出が事後となる場合は、すみやかに担当課へ連絡を行い、後日 公欠届を提出すること。
公欠届の届出有効期限は、欠席の最終欠席日より 1 週間以内とする。
- ・ 試験の公欠事由が、別表 1 の項番 1.2.3.7.8 の場合は、追試験料が免除されます。
その他不明な点は、担当課へ問い合わせてください。

9. 試験

履修した科目については、原則として試験に合格しなければ「単位」として認定されません。試験には、期末試験、追試験、再試験の三種類があります。詳細については履修規則を参照してください。試験を受けるにあたっては、次のことに留意してください。

(1) 試験時間割の確認

期末試験、追・再試験の時間割はポータルサイトや掲示板を通じて連絡します。

試験科目、日時、試験場等間違えないよう充分注意してください。なお、試験時間割は変更が生じる場合がありますので掲示板は必ずチェックしてください。

* 期末試験・追試験・再試験の時間は次のとおりです。

第1時限	9:00～10:00	第5時限	14:10～15:10
第2時限	10:10～11:10	第6時限	15:20～16:20
第3時限	11:20～12:20	第7時限	16:30～17:30
第4時限	13:00～14:00		

追試験、再試験を受ける場合は、学生証のほかに、追・再試申告票が必要です。

※科目によっては、遠隔実施科目があります。

(2) 学生証の呈示

試験場では、必ず学生証を机上に呈示してください。もし、学生証を忘れた場合は、学生課において、仮学生証（当日限り有効）の交付を受けなければなりません。

(3) 遅刻・退室

試験場での遅刻は、試験開始後30分以内です。また、試験開始後30分を経過するまでは退室できません。

(4) 不正行為

試験は皆さんの実力を公平に試すべきものです。不正行為は学生の本分に悖る卑劣な行為であることはいうまでもありません。カンニングなどの不正行為を行った者は、退室を命ぜられたうえ所定の処分をうけます。

10. 履修登録関係日程

(1) 前期履修変更及び取消期間 **4月25日(月)～27日(水)**

*履修登録した科目を変更及び取り消したい場合は、上記の期間に行ってください。

(2) 前期履修取消期間 **7月11日(月)～13日(水)**

*履修登録した科目を取り消したい場合は、上記の期間に行ってください。

※履修登録して授業を受けなかった場合、未履修として成績報告されます。

(3) 後期履修変更及び取消期間 **9月20日(火)～21日(水)**

10月11日(火)～13日(木)

*履修登録した科目を変更及び取り消したい場合は、上記の期間に行ってください。

(4) 後期履修取消期間 **1月10日(火)～12日(木)**

*履修登録した科目を取り消したい場合は、上記の期間に行ってください。

※履修登録して授業を受けなかった場合、未履修として成績報告されます。